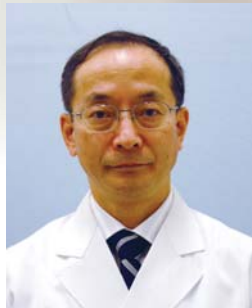


ジェネリック医薬品



薬剤部長 山田 喜広

近年、テレビコマーシャルなどで頻繁にとりあげられ、よく耳にする「ジェネリック医薬品」。誰でも知っている大物司会者や大物俳優が価格の安さと、先発薬品と同じ効き目で安心して使用できると紹介しているあれです。そもそも先発薬品とは何でしょうか？また、ジェネリック薬品はどのように生まれてきたのでしょうか？

まず、大雑把に言えば、医薬品は市販薬（一般用医薬品）と処方せん薬（医療用医薬品）の2つがあります。市販薬は町の薬局で薬剤師と相談しながら買い求めることができる薬です。一方、処方せん薬とは病院などで医

師が診察した後、処方せんに書いてもらわないと薬局では出せない薬です。

この処方せん薬は、たいへんな時間とコストをかけて研究・開発されて新薬（先発薬品）として生まれます。新薬としての特許が切れた後は、どのメーカーにも製造が認められるため、低コストで同じ薬、すなわちジェネリック医薬品が製造できる訳です。

では、ジェネリック医薬品は「安かろう、悪かろう」ではないかと危惧されるかもしれませんが、厚生労働省のホームページには以下のように書いてあります。

「ジェネリック医薬品は、先発薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に、開発費用が安く抑えられることから、先発薬品に比べて薬価が安くなっています。」さらに、最近では「品質再評価」という制度がスタートし、いったん販売が認められたあとも承認時と変わらず品質が維持されているかを検査するシステムが働いています。

基本的に、調剤薬局は処方せんの中に、ジェネリック薬品に変更可能な薬があれば、患者さんに変更を勧めなければいけませんので、その際はよく薬剤師とご相談ください。

新任 医師 紹介

佐藤 一弘 (さとう かずひろ)

- 所属／消化器(肝胆膵)内科 ●役職／消化器内科部長
- 専門分野／肝臓癌のカテーテル治療
膵臓癌の動注併用放射線治療
門脈系血行改変による肝硬変治療
- 認定医・専門医等／日本消化器病学会指導医
日本胆道学会指導医
日本放射線学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
- 趣味／自慢できるものありません
- 好きな食べ物／カレーライスとホイップあんばん



肝臓・胆嚢や
胆管・膵臓について
皆さんの御言葉で
何でも尋ねてください。

「女性が働きやすい職場」が評価され知事褒賞を受賞 ～24年度男女共同参画社会づくり活動～

7月27日(金)、県庁において知事褒賞の表彰式が行われ、当院が受賞しました。

これは、「男女共同参画推進条例」に基づく制度によるもので、当院の「女性が働きやすい職場環境」が認められての受賞となりました。



当日は、他の受賞者9個人・団体とともに、川勝知事から、奥田康一院長に直接褒賞が手渡されました。

当院では、女性が多く働く職場として、男性と対等に働けて評価も得られるという当たり前のことが、普通に行われるよう努めてきました。

具体的には、看護師や女性医師が継続的に勤められるよう、院内保育所の併設や、育児休業制度を積極的に推進しています。さらに、介護休暇の取得制度を取り入れたり、職場改善に対する提案を広く募り、優れた意見は表彰したりなど、男女問わず、働きやすい職場環境づくりに努めています。

この取組みにより、女性医師が増えることで、当院のスローガンの一つである「女性に優しい病院」として、患者さんに満足いただける医療を提供できることに繋がれば幸いです。

これからも、受賞に恥じないような職場とすることで、地域の皆さんに信頼される病院を目指していきます。

やさしい 疾患手帳

リハビリテーション科の専門医ってなにをするんだろう？



リハビリテーション科部長 おかわ しんじ 小川 真司

Profile プロフィール

- 所属／リハビリテーション科
- 役職／リハビリテーション科部長
- 専門分野／リハビリテーション医学 筋電図検査
- 自己PR／7月から外来診察を始めました。運動障害や生活の相談を受け付けております。よろしくお願ひします
- 趣味／釣り 旅行 ジョギング
- 好きな食べ物／韓国料理にはまっています

「リハビリ」というと「訓練」とか、病气やけがの後の「トレーニング」という意味で使われています。もともと「リハビリテーション」という言葉には、「もとの生活に戻る」とか「権利の回復」という意味があります。

リハビリテーション科の医師が専門としている分野をリハビリテーション医学といいます。リハビリテーション医学は、実は「物理医学」と「リハビリテーション」という二つの分野が統合されたものなのです。「物理医学」という分野では、運動訓練(いわゆる「リハビリ」)、電気治療、温熱治療、義足・義手の作成などの物理学・運動学・工学的な方法で患者さんを治療したり、神経や筋肉の電気検査などを行って障害の診断を行います。もうひとつの分野の「リハビリテーション」とは、患者さんの身体・心・生活をより良いレベルまで到達させることであります。「訓練」(いわゆる「リハビリ」)は、ひとつの手段に過ぎません。

最近のトピックスとして「ボツリヌスの筋肉注射」があります。麻痺している筋肉のうちツツパリの強い(反

射の亢進している)タイプに対して、ツツパリをやわらげたり、動きをなめらかにする効果があります。

リハビリテーション科の医師は、患者さんの症状(障害)が少しでも良くなり、生活しやすくなるために、診察をします。お薬も出します。注射もします。障害のある患者さんに「安心の太鼓判」を押せるように仕事をしています。

看護師への夢、より強く

～高校生が一日看護師体験～

将来、看護師を目指す高校生たちに、看護の仕事について正しく理解を深めてもらおうと、当院で8月16・17日、一日看護体験を行い、2日間で30人が参加しました。

高校生たちは白衣に着替えてリハビリテーションセンターを見学しました。その後、病棟ごとにわかれて、現役看護師に指導を受けながら、血糖測定や清拭・食事介助などの仕事を体験しました。

参加した高校生からは「看護師の仕事は大変そうだけど、やりがいがある仕事だと感じた。看護師になりたい気持ちにさらに強くなった」の感想が聞けました。

